



もので、花づくりを通して  
村づくりにも頑張りたいと  
思いますので、地域の皆さ  
んの、一層の御協力、支援  
を、御願いたします。

### ◆成人式を迎えて

八反田 茶丹武士  
成人・二十歳 それには

社会人としての第一歩目  
ある。赤ちゃんにたとえ  
と床をはって歩いてるに  
似ている。立つて歩くた  
めには、自分で努力し、  
人の手を貸りてやっつて  
は、余う進歩がない。幼  
児でも立とうと努力し、  
最後には自ら立つて歩  
く様になるのだから、  
僕は二十歳。自分のこと  
は自分でやれる年なので  
有るから、社会人として  
恥がしくない様にしたい。



### 二十歳になつて

橋 柿丸洋子

一人の大人、大人として  
の責任、など云われます。

自分では、ピンと来ない  
けれども、そんなことを云  
つてはいられない時期に  
来ました。

一生のうちで一番大事  
な年に入つたような気が  
します。

人に迷惑をかけず、一人  
の人間として、しなければ  
ならない事を、確実にこな  
して行ける人間になりたい  
と思います。

### 年頭の決意

小学五年生 藤若之

ぼくの年頭の決意は、学  
習に力を入れると云うこと  
です。

ぼくがこれに決めたわけ  
は二学期の成績が、一学期  
より下つたのがあつたから

です。

また父からも、やれば出  
来る、もう少しがんばれい  
と云われたからです。

ぼくも今年には六年生で、  
小学校最後の年なので、力  
いっぱい、がんばつてみよ  
うと思います。

また健康で楽しい一年に  
なる様に、がんばりたいと  
思います。

### 今年は何年

西年生れの人に

本郷 松井邦子

恥場(大代)に勤務する  
様になつてもう五年目、今  
更乍ら地元にて本郷に良  
かつたと痛切に感じていま  
す。

青年団活動も、他にはな  
い家族的容意気の中で時に  
は叱られたり、時には笑つ  
たりアツと云う間に時が過  
去つてしまつた様な気がし

ます。

私は西年生れ、今年は一  
年女・モウ自分の年も小  
で二十四才になりますヨと  
云うわけ。

まだ青春の真盛りと云つ  
てもいいのでしようか。

今年一年間、充実した一  
日一日を、大切に過ごして行  
きたいと思ひます。

◆ 平(飯谷)井谷博子

私も大代に居てもう十三  
年になります。少し宛大代  
の人の顔と名前が一致する  
迄になりました。

西が三人集まれば家が栄  
えると聞いた事があります  
が、家では、おいしいさん、

私(お)長男の三人共西年  
せれです。家が栄えると云  
う事は、家族が健康で明る  
い生活が出来ると思ひま  
す。

正月三日には、家内安全  
交通祈願、少し欲張つて、  
尚虎筆昌をと大社に参り、

参り、

子供達と一しよに年頭の誓いを立てました。

人に好かれる人間にしたいと思ひます。

親しい事ですが努力して行きたいと思ひます。

おいさん、は、長男は中学を、元とに因んで、鷹の様に、ムク鳥の様、羽持きたと思ひます。

西年を迎えて  
上市 今西一郎

私は昭和八年生れの西年です。  
私達の幼年期は現代の様な教育とは全く異なり、スバル夕教育と云うものでした。その中で、私は真の技術を磨き上げてゆく事の厳しさを知り、人の心と云うものに触れて来た様に思ひます。

戦後日本は、近代化に伴い、社会は急激な成長を遂げ、そして現在、子供達の

非行問題がクローズアップされ、私も自分事として、深く考えさせられます。

年頭に当り、私は「教育と云うものを今一度考え見ようと思つています。」

今年は何年

四日市 今田不三夫

私は大正十年西年生れ、昨年は減収、冷害等、農家にとつては大変きびしい年でありました。中でもコンヒカリは一番の被害をうけました。

うまい米、消費者の喜び米を努力しました。何分にもきびしい天候には人間の力では、どうする事も出来ません。  
これから管農計画を立てる時期、ことしはほんな天候になりませんか。米造りに充分な注意を払いたたい。平和な年であります様に願つております。

明治三十年西年  
現在の幸に感謝して

八友田 三宅ヨシノ

今年で六度目の西年を迎え、益々元気で日々を送つていきます。

大代に嫁いだのが二十歳の時、三人の子供を残され、二十七歳で寡婦となつてからの生活は大変でした。

現在の様に福祉制度もなく、農業も機械化されておらず、その頃農業によつて生活を立てるのは苦勞でした。幸にも海辺の育ちで、小さい時から魚を食べたせいか、身体が丈夫だったのが何よりでした。

食べ、働けと云われ、様に、何でも食べます。養老年金も掛けずに頂き、貰う度に押しいただいていきます。  
孫夫婦、曾孫に囲まれ、今では毎日を楽しく過ごして

おります。

(三宅ヨシノ様、いろいろお話しを伺い、まとめさせて頂きました。

とかく愚痴ボウなう勝ちな、お年寄りが、やさしいお嫁さんに感謝されていられる御様子、ほのぼのとしたものを感ずりました。)

元気で頑張り  
まじよう  
川編 某報

植松 山本夏義

私は明治四十二年生れの西年です。  
小学校の頃から曆を読んで十二千支(えと)のあることを知つていました。  
私と西年の縁といふのは、な関係があるのか分りませんが、性格の上で似ている点がある様に思われます。曆では西年生れの人は、細かい事に気が付いて掃除

暮していると言いつて有つた  
様に記憶してあります。その  
故か難に對しては大喪親し  
みを感じています。  
従つて小さい頃からいぢ  
めたりした事は有うません。  
此の次の西平まで元氣で  
頑張りましょう。



● 郷土を知り (7)

昔を知らう!!

浄土宗 知恩院派  
全鳳山 正法寺

大字 大家字 上市

貞応二年(一二三三年)

浄土宗第三宗記然阿良忠上  
人(勅賜記主禪師)法の爲  
諸國巡化の際、当地を了と  
して、毫字を創建せられた。  
本尊には慈覺大師作と云  
われり弥陀立像を安置され  
、全鳳山慈覺院正法寺と号  
を付けられました。

本寺院は、創建以来三百  
有余年を終り、慶長年間(一  
五九六)一六一四年の間  
火災に罹り、本堂及諸汁物  
等を焼失し、本尊のみ助か  
つたと云われています。

元禄二年(一六八九)

当寺の僧三上人により中興  
され、現在に至つていと  
古われています。

尚境内には仏堂が多くの  
あります。

現在住職 松島定範氏  
参考資料

大田市誌 大代丁史  
新石見社事業案内

(記事、山本清助)

自治会長さん御紹介

上市 木村吉男

下市 渡 寛之

植松 渡利信吾

四市 鈔 昭人

椿 花田辰行

柿田 横手新治郎

川上 山下実夫

下谷 尾崎義徳

八谷 花田三郎

本郷 二又文夫

山田 河野教義

平 武田 勇

上飯谷 原田政明

下飯谷 仲間秋人

弓具 窪田繁太郎

右原 齊藤正治

(自治会順)

公民館運営委員御紹介

委員長 高崎 章

委員 山根正三

委員 木村吉男

委員 山本清助

委員 尾崎義徳

委員 武田綱枝

委員 竹間 猛

委員 橋本昭二

委員 日向重舟

委員 谷口俊美

委員 渡 敏昭

委員 谷口通雄

委員 森股可朗

委員 柿丸幸枝

委員 原田英夫

(順不同)

団体長御紹介

自治会連合会 木村吉男

婦人 会 武田綱枝

青年 会 田竹間 猛

昇 会 尾崎義徳

P.T.A(小) 横手新治郎

り (中) 坂本武人

(以下次号へ)